

## 赤十字幼児安全法「短期講習」一覧

NO.	短期講習名	内容	標準時間数	準備物	教材費等
CS1	乳幼児の 一次救命処置 (AED+CPR)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手当の基本</li> <li>・心肺蘇生</li> <li>・AEDを用いた電気ショック</li> <li>・気道異物の除去</li> <li>・一次救命処置(PBLS)の手順等</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上の項目の学科と実技</p>	120分～	ホワイトボード ・靴を脱ぐ会場 又は敷物  ※動きやすい服装	「知っておきたいこどもの看病手当のしかた」 @53円 一方向弁付き吹き込み用具 @182円 練習用フェイスシールド @127円
CS2	子どもに 起こりやすい 事故の予防と 応急手当 (けがの手当)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに起こりやすい事故</li> <li>・事故の誘因と予防</li> <li>・子どものけが                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ きず</li> <li>○ 頭部のけが</li> <li>○ 打撲・骨折など</li> <li>○ 手当の実際等</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">以上の項目の学科と実技</p>	60分～ 120分	ホワイトボード 〈各自が持参するもの〉 ・大判ハンカチ 1枚 (目安50cm×50cm程度) ・風呂敷またはスカーフ、 三角巾のいずれか1枚 ・パンティストッキング1足	※申込時に【実施実技】を選択していただくことで、講習時間と(持参物)が決まります
CS3	子どもに 起こりやすい 事故の予防と 応急手当 (熱傷など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの特徴と起こりやすい事故</li> <li>・事故の誘因と予防</li> <li>・子どもの応急手当                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ きず</li> <li>○ 誤飲・誤嚥・窒息</li> <li>○ 溺水</li> <li>○ 熱傷</li> <li>○ 熱中症など等</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">以上の項目の学科</p>	90分～ 120分	ホワイトボード	*実技はありません
CS4	子どもの病気と 看病のしかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの病気の特徴</li> <li>・いつもと違う!と思ったら・・・</li> <li>・起こりやすい症状と手当                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 熱</li> <li>○ 下痢</li> <li>○ 咳</li> <li>○ けいれん</li> <li>○ 嘔吐</li> <li>○ 脱水症</li> </ul> </li> <li>・医師へのかかり方等</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上の項目の学科</p>	60分～ 90分	ホワイトボード	「知っておきたいこどもの看病手当のしかた」 @53円 *実技はありません
CS5	災害時乳幼児 生活支援講習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害への備え</li> <li>・避難生活</li> <li>・乳幼児と保護者の避難生活と支援</li> <li>・知って役立つ技術 (ホットタオルの作り方など)</li> <li>・避難生活における支援にあたって</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上の項目の学科と実技</p>	90分	ホワイトボード その他 ※申込時に説明・相談	「避難生活支援講習ハンドブック 災害が起こったときに」 @53円

\*原則として、受講者10名以上で実施してください。

\*原則として、1人の指導員を派遣しますが、受講者数と内容により、指導員派遣数に変更になることがあります。

\*教材費は、講習内容に応じて負担をお願いします。(上記教材費欄参照)

\*指導員派遣料(一人1日@5,000円以上、4時間未満)及び講習に必要な資材の搬送経費等は、申請者の負担となりますのでご了承ください。(地区区分主管で、対象者が赤十字地区区分職員、赤十字奉仕団員、青少年赤十字加盟校等は免除となります。)

\*学科・実技ができる会場が必要です。